

お立ち寄りいただきありがとうございます

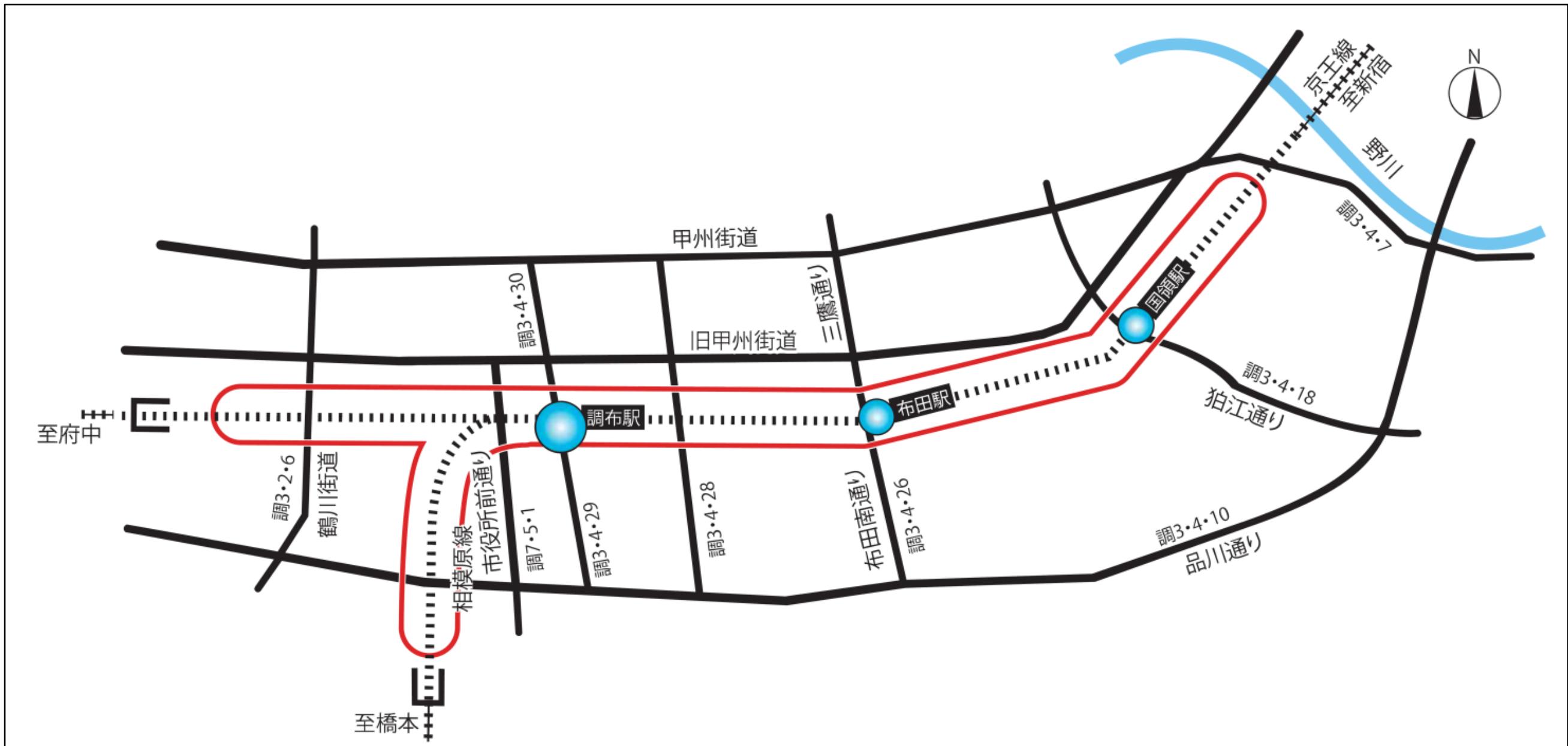
# 鉄道敷地整備に関する オープンハウス



鉄道敷地については、これまで順次整備を進めており、今後は「緑道」の整備に着手することから、本オープンハウスでは、「緑道（鶴川街道～国領駅）」の整備内容について、皆さまからのご意見をお伺いすることを目的としています。

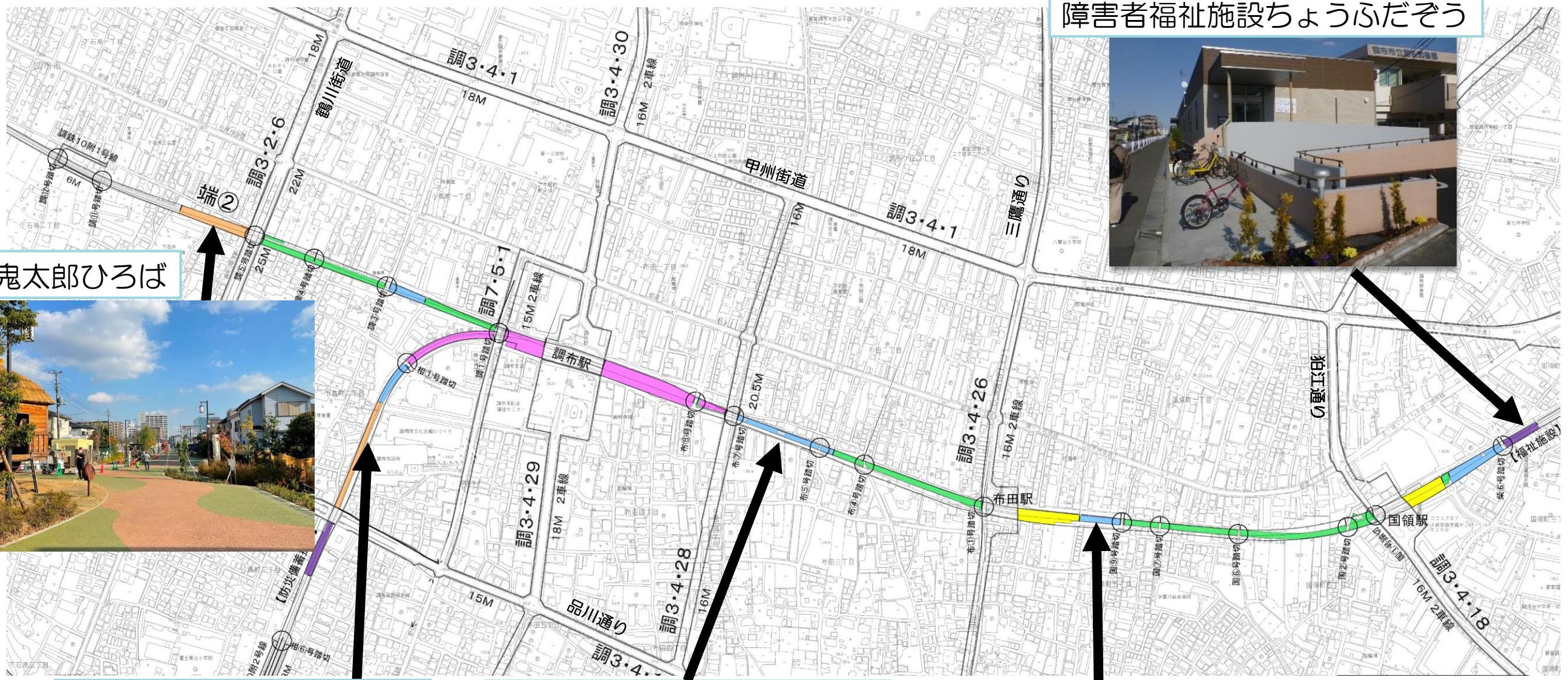
# ① 鉄道敷地とは

鉄道敷地とは、京王線の地下化によって創出された、調布・布田・国領3駅の駅前広場と各駅をつなぐ線路跡地のことを示します。市では、貴重な都市空間である鉄道敷地を有効に活用し、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間として整備に取り組んでいます。



# ②これまでの整備内容

■3駅分の広範囲にわたる鉄道敷地部分は、段階的に皆さまのご意見を多様な方法で伺いながら、整備内容に反映してまいりました。



鬼太郎ひろば

障害者福祉施設ちょうふだそう



鉄道敷地公園（相模原線）

調布駅東側 自転車等駐車場

布田駅東側 自転車等駐車場



| 凡例                                    |          |
|---------------------------------------|----------|
| <span style="color: orange;">■</span> | 都市公園等    |
| <span style="color: green;">■</span>  | 緑道、生活道路等 |
| <span style="color: blue;">■</span>   | 自転車駐車場等  |
| <span style="color: yellow;">■</span> | 駅舎施設     |
| <span style="color: pink;">■</span>   | 商業施設等    |
| <span style="color: purple;">■</span> | 公共施設等    |
| ○                                     | 連立解消踏切   |

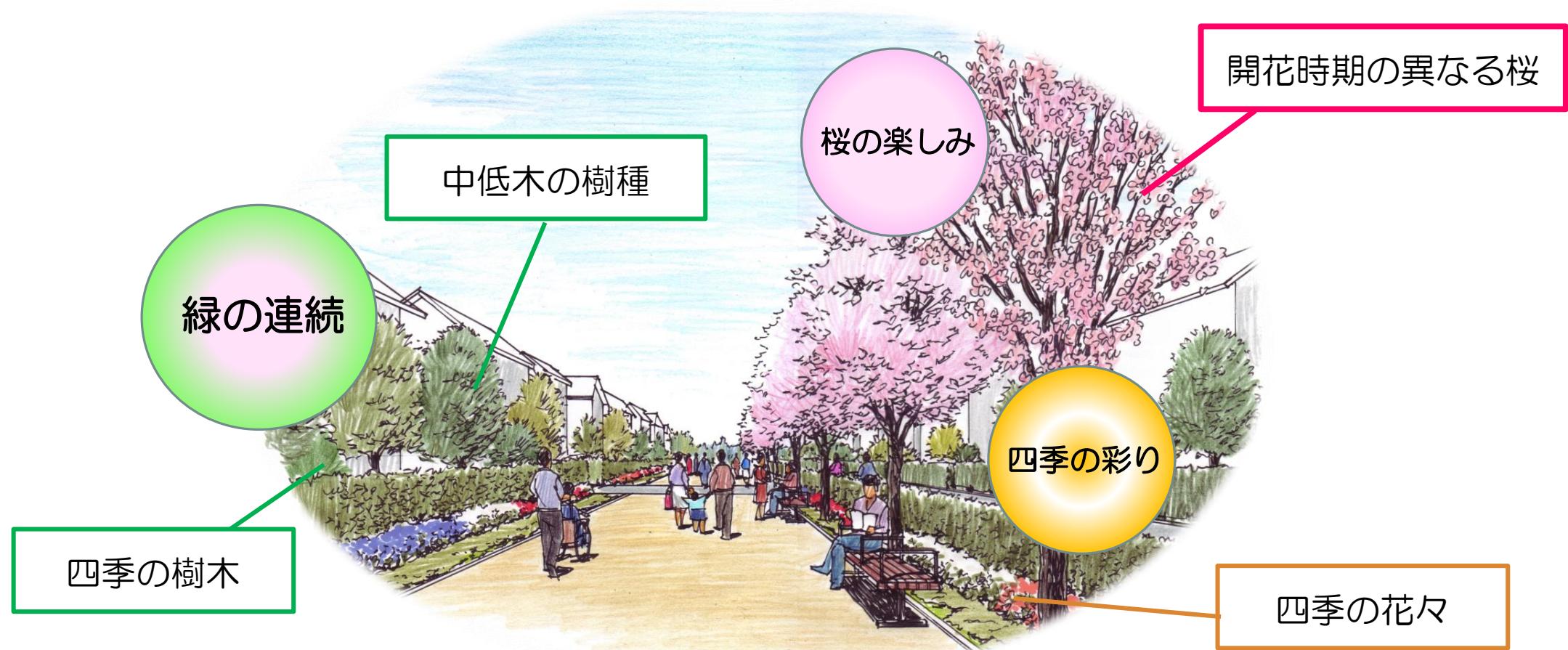
### ③市民参加の経緯

| 年度              | 経緯   |
|-----------------|--|
| 1999年度（平成11年度）  | 中心市街地街づくり総合計画の策定   |
| 2002年度（平成14年度）  | 鉄道敷地利用検討会の発足   |
| 2004年度（平成16年度）  | 地上利用検討会の発足<br>鉄道敷地利用検討会から「鉄道敷地利用に向けての提言書」の提出                                 |
| 2006年度（平成18年度）  | 地元勉強会や市民アンケート、子ども向けアンケートの実施  |
| 2009年度（平成21年度）  | 中心市街地デザイン・コンセプト策定  |
| 2011年度（平成23年度）  | 調布、布田、国領駅前広場等検討報告会の実施、鉄道敷地利用基本方針図(案)の公表                                      |
| 2012年度（平成24年度）  | 京王線が地下化、鉄道敷地利用基本方針図(変更案)の公表  |
| 2014年度（平成26年度）  | 鉄道敷地利用計画図の公表、<br>鉄道敷地利用のゾーニングを一部変更及びスケジュール案の公表                               |
| 2015年度（平成27年度）  | 鉄道敷地近隣の商店会、自治会等との意見交換会や「鉄道敷地ミーティング」を開催<br>鉄道敷地の整備に関する基本的な考えを定めた「鉄道敷地整備計画」を策定 |
| 2017年7月（平成29年度） | 「鉄道敷地の整備に関する説明会」を開催  |

➡2020年（令和2年）12月1日、2日、6日オープンハウスの開催

# ④ 鉄道敷地整備計画について

- 平成27年度に「鉄道敷地整備計画」を策定し、緑道のテーマを決定しました。  
全体整備テーマ：**桜を全体に配置した四季感豊かな緑道空間**



## ■ 緑道の整備イメージ





# ⑥-1 今後の整備内容（区間A（水木ゾーン）について）

## ■基本方針

- 鬼太郎ひろばとのつながりを持たせた緑道とする。
- 歩道は緩やかな曲線とし、歩きながらゆっくり楽しめる空間とする。
- フットライトを設置するなど、夜間でも歩いて楽しい空間を演出する。



## ■整備イメージ



照明



鬼太郎ひろば

# ⑥-2 今後の整備内容（区間B（情報発信ゾーン）について）

## ■基本方針

- 人が集い、地域交流が促進されるよう、緑道脇の開けた空間を活用し、オープンスペースを確保する。
- オープンスペースは、地域での活用等ができる空間とするため、樹木とベンチのみを設置し活用の幅を広げる。
- オープンスペースは、日常的に人が集まれる空間とするため、ベンチをコの字型に配置する。



## ■整備イメージ



情報発信の例

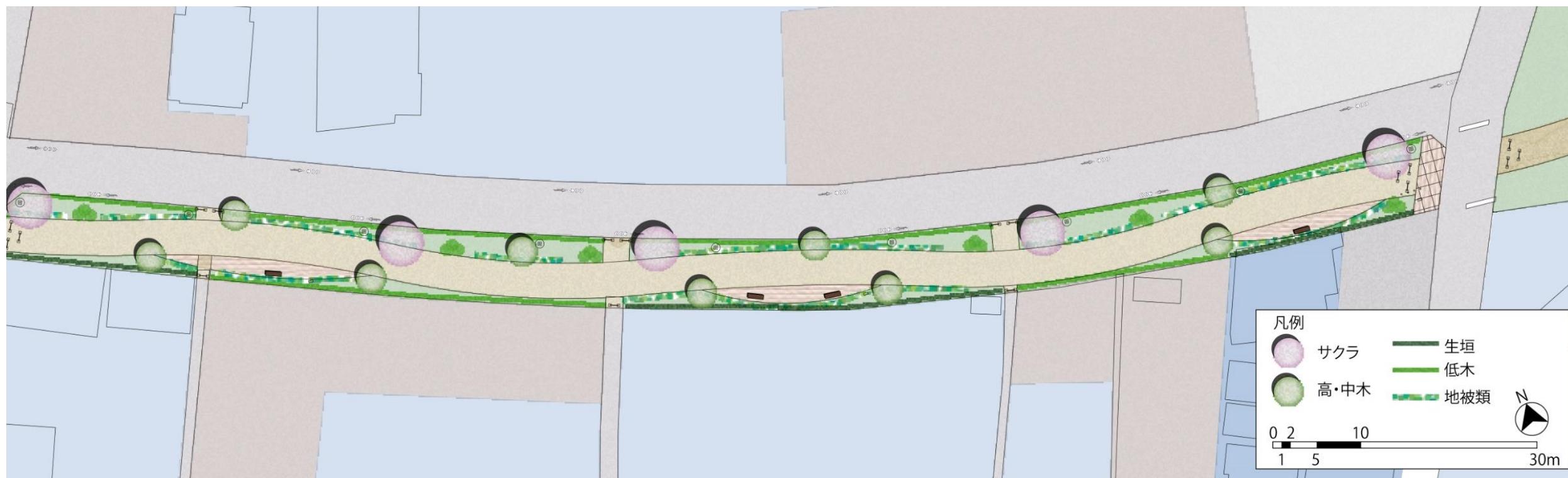


オープンスペース

# ⑥-3 今後の整備内容（区間C（健康ゾーン）について）

## ■基本方針

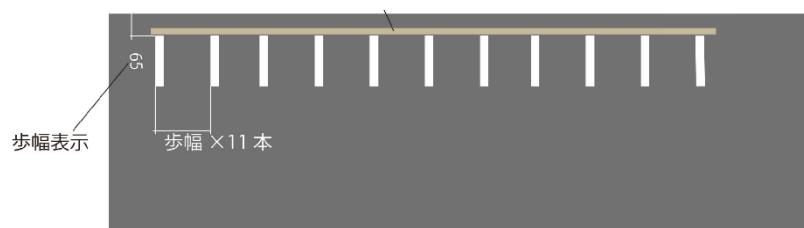
- 距離表示を設置するなど、歩行を促進する工夫を行い、市民の健康増進に資する設えとする。
- ストレッチなどの運動機能を付加したベンチなどを、適度に配置する。
- 歩幅スタンプなどにより、路面表示を工夫する。
- 散策を促し、気軽に健康づくりが行える場を創出する。



## ■整備イメージ



距離表示



歩道スタンプ



健康器具機能付きベンチ

# ⑦植栽の検討方針

## ■全体整備テーマ

### 桜を全体に配置した四季感豊かな緑道空間

## ■メインコンセプト

「にぎわい 庭園 ちょうふ」 まちはにぎわいあふれる みんなのにわ  
～「庭園通り」：庭園のように四季感豊かな緑道空間で3つの駅と市内の自然をつなぐ～

## ■植栽基本方針

- ① 桜を緑道全体の骨格となる樹種とし、連続性とつながりのある緑道を形成する。
- ② 中高木や低木、地被植栽は各区分毎の違った特性を表現しつつ季節を感じられる空間演出を行う。
- ③ 南側の住宅等の前には、サクラなど大木となり、枝張りが大きい高木を配置しない。

#### 区分A（水木ゾーン）

- ①和風の植栽を行い「里山」や「農村」、「屋敷林」をイメージできる植栽を行う。
- ②桜で鉄道敷地の連続性を確保しつつ、アイスポットや景観ポイントとなる箇所に花木や草花を配置する。

#### 【例】



シダレザクラ



イロハモミジ

#### 区分B（情報発信ゾーン）

- ①利用者が緑道で情報を得たり、情報を発信したくなるような、花木等により迫力があり、写真映えする空間づくりを行う。
- ②区分内を四季で区分することで、季節に応じたダイナミックな植栽の演出を行う。

#### 【例】



カツラ



サクラ

#### 区分C（健康ゾーン）

- ①四季折々の季節感に富んだ植栽を行うことで、毎日散歩をしたくなるような空間づくりを行う。
- ②緑道内はすっきりとした広がりのある気持ちのいい空間とするため、草花や四季を感じられる落葉低木を配置する。

#### 【例】



サクラ



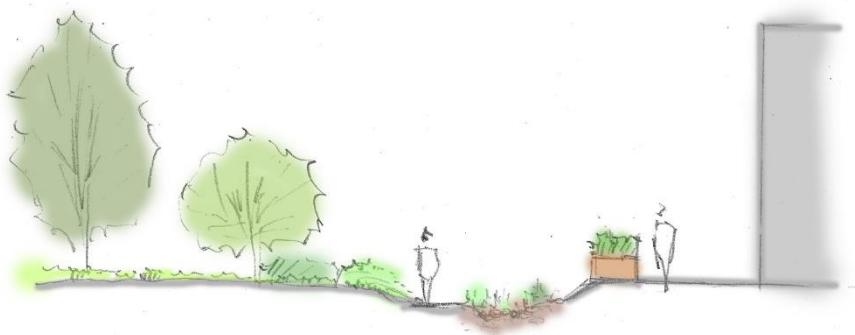
サルスベリ

# ⑧今後の検討事項

■今後、市民のみなさまとの意見交換の機会を設けながら、以下の事項について検討を進めてまいります。

- ①緑道の形状：既存地形を生かした形状等、歩行者が快適かつ楽しめる空間形状を検討
- ②緑道に用いる樹種：整備テーマである桜をはじめ、生垣や樹木等の樹種を、維持管理面も踏まえて検討
- ③緑道の設え：緑道の利用に関するご意見を踏まえ、緑道内に設置する物などの設えを検討
- ④住民参加型の管理：住民が管理できる花壇の設置などを検討

## ①緑道の形状 (例)



地形を活かした形状

## ②緑道に用いる樹種 (例)



シンダイアケボノ

## ③緑道の設え (例)



ベンチ



舗装



蛇行した形状



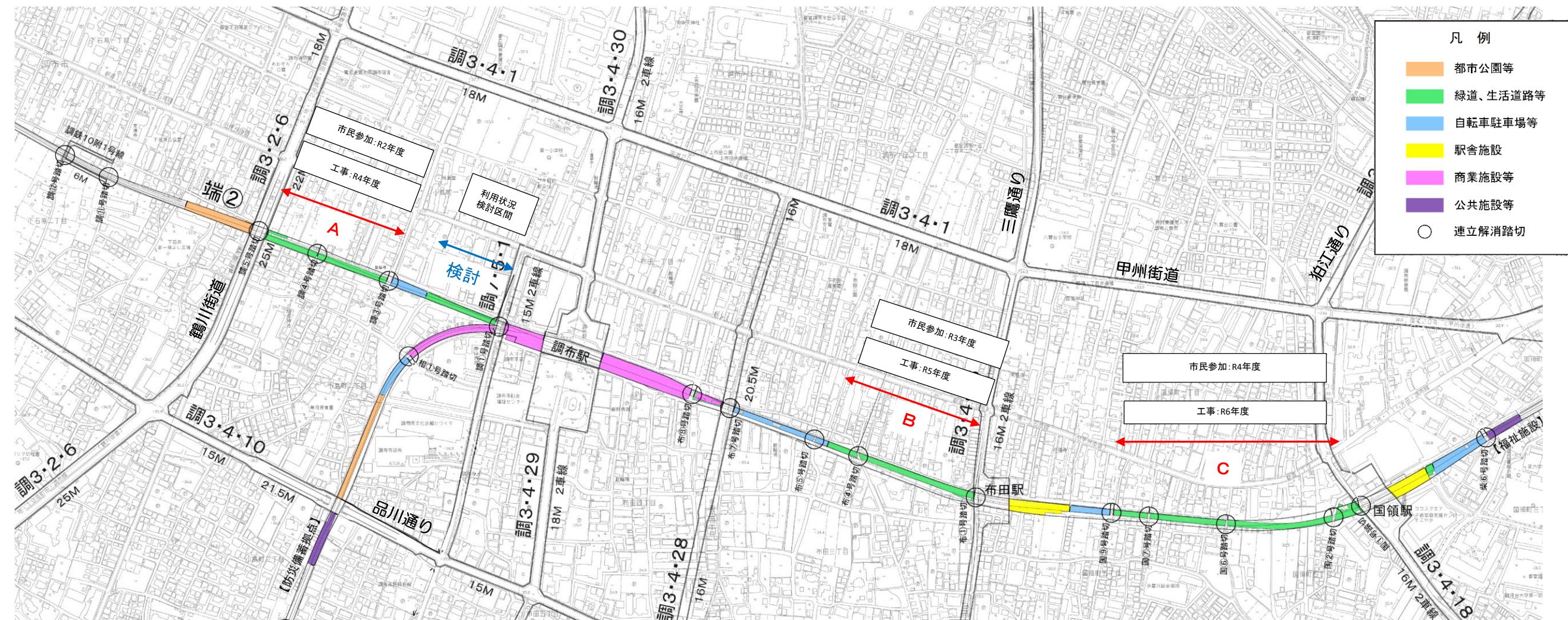
カワツザクラ



健康器具機能付きベンチ

# ◎今後のスケジュール

## ■緑道整備スケジュール（予定）



|   | R 2 年度 | R 3 年度 | R 4 年度 | R 5 年度 | R 6 年度 |
|---|--------|--------|--------|--------|--------|
| A | 市民参加   | 設計     | 工事     |        |        |
| B |        | 市民参加   | 設計     | 工事     |        |
| C |        |        | 市民参加   | 設計     | 工事     |